

# 平成30年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	埼玉県		市町村類型	Ⅲ-3		指定団体等の指定状況		区分		平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	区分		平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)		
								歳入総額	53,615,949			54,906,802	実質収支比率			8.7	10.3
市町村名	戸田市		地方交付税種地	2-9		財政健全化等	×	歳出総額	50,857,943	51,588,479	経常収支比率	87.3	89.0				
								財源超過	○	歳入歳出差引	2,758,006	3,318,323	(※1)	(87.3)	(89.0)		
								首都	○	翌年度に繰越すべき財源	127,951	329,068	標準財政規模	30,131,262	28,915,414		
								近畿	×	実質収支	2,630,055	2,989,255	財政力指数	1.24	1.23		
人口	27年国調(人)	136,150	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	-359,200	419,417	公債費負担比率	8.5	7.5					
	22年国調(人)	123,079					過疎	×	積立金	2,415,713	1,162,157	健全化判断比率					
	増減率(%)	10.6					山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率					
住民基本台帳人口(※7)	31.01.01(人)	139,616	第1次	27年国調	103	22年国調	101	低開発	×	積立金取崩し額	1,077,000	928,872	連結実質赤字比率				
	うち日本人(人)	132,340			0.2	0.2			指数表選定	○	実質単年度収支	979,513	652,702	実質公債費比率	5.0	4.3	
	30.01.01(人)	138,738	第2次							基準財政収入額	23,227,703	22,283,487	資金不足比率(※4)				
	うち日本人(人)	131,990			14,060	13,524					基準財政需要額	18,363,962	18,062,095				
	増減率(%)	0.6			23.0	23.6					標準税収入額等	30,131,262	28,915,414				
	うち日本人(%)	0.3	第3次		46,929	43,756					経常経費充当一般財源等	26,352,509	26,947,138				
				76.8	76.3					歳入一般財源等	36,939,920	36,841,314					
面積(km <sup>2</sup> )	18.19																
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	7,485																
世帯数(世帯)	59,432																
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	23,776,581	25,890,178	うち公的資金	6,047,083	6,737,657			
	市区町村長	1	9,700		一般職員	834	2,512,842	3,013	債務負担行為額(支出予定額)	9,213,719	12,728,541						
	副市区町村長	1	8,140		うち消防職員	139	407,270	2,930	収益事業収入	500,000	500,000						
	教育長	1	7,460		うち技能労務職員	19	57,741	3,039	土地開発基金現在高	2,624,799	2,624,563						
	議会議長	1	5,400		教育公務員	15	56,580	3,772	積立金	6,250,181	4,911,468						
	議会副議長	1	4,900		臨時職員	-	-	-	減債基金	-	-						
	議会議員	24	4,500		合計	849	2,569,422	3,026	現在高	7,926,966	5,538,002						
						ラスバイレス指数			100.6	その他特定目的基金							
	一般会計等の一覧																
	項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番
(1)	一般会計	(7)	国民健康保険	(12)	水道事業会計	(14)	蕨戸田衛生センター組合	(21)	戸田市文化スポーツ財団								
(2)	市民医療センター	(8)	介護保険	(13)	下水道事業会計	(15)	戸田競艇企業団	(22)	戸田市水と緑の公社								
(3)	海外留学奨学事業	(9)	後期高齢者医療			(16)	埼玉県後期高齢者医療広域連合	(23)	戸田市土地開発公社								
(4)	火災共済事業	(10)	在宅介護支援事業			(17)	埼玉県後期高齢者医療広域連合										
(5)	新曽第一土地区画整理事業	(11)	交通災害共済事業			(18)	埼玉県市町村総合事務組合										
(6)	新曽第二土地区画整理事業					(19)	埼玉県市町村総合事務組合										
						(20)	彩の国さいたまづくり広域連合										

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

## (1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	28,512,262	53.2	26,720,240	88.5	普通税	26,720,240	93.7	348	
地方譲与税	222,141	0.4	222,141	0.7	法定普通税	26,720,240	93.7	348	
利子割交付金	34,309	0.1	34,309	0.1	市町村民税	12,794,623	44.9	348	
配当割交付金	95,744	0.2	95,744	0.3	個人均等割	256,340	0.9		
株式等譲渡所得割交付金	88,533	0.2	88,533	0.3	所得割	10,092,788	35.4		
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	503,124	1.8		
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	1,942,371	6.8	348	
地方消費税交付金	2,565,194	4.8	2,565,194	8.5	固定資産税	12,845,094	45.1		
ゴルフ場利用税交付金	6,975	0.0	6,975	0.0	うち純固定資産税	12,462,341	43.7		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	112,528	0.4		
自動車取得税交付金	94,937	0.2	94,937	0.3	市町村たばこ税	967,995	3.4		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	鉱産税	-	-		
地方特例交付金	162,220	0.3	162,220	0.5	特別土地保有税	-	-		
地方交付税	19,985	0.0	-	-	法定外普通税	-	-		
普通交付税	-	-	-	-	目的税	1,792,022	6.3		
特別交付税	19,914	0.0	-	-	法定目的税	1,792,022	6.3		
震災復興特別交付税	71	0.0	-	-	入湯税	-	-		
(一般財源計)	31,802,300	59.3	29,990,293	99.3	事業所税	-	-		
交通安全対策特別交付金	17,050	0.0	17,050	0.1	都市計画税	1,792,022	6.3		
分担金・負担金	804,465	1.5	-	-	水利地益税等	-	-		
使用料	941,507	1.8	-	-	法定外目的税	-	-		
手数料	101,173	0.2	-	-	旧法による税	-	-		
国庫支出金	9,423,179	17.6	-	-	合計	28,512,262	100.0	348	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	2,711,746	5.1	-	-					
財産収入	297,556	0.6	133,197	0.4					
寄附金	24,286	0.0	-	-					
繰入金	1,145,485	2.1	-	-					
繰越金	3,318,323	6.2	-	-					
諸収入	2,111,679	3.9	50,429	0.2					
地方債	917,200	1.7	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	-	-	-	-					
歳入合計	53,615,949	100.0	30,190,973	100.0					

地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	26,720,240	93.7	348	
法定普通税	26,720,240	93.7	348	
市町村民税	12,794,623	44.9	348	
個人均等割	256,340	0.9		
所得割	10,092,788	35.4		
法人均等割	503,124	1.8		
法人税割	1,942,371	6.8	348	
固定資産税	12,845,094	45.1		
うち純固定資産税	12,462,341	43.7		
軽自動車税	112,528	0.4		
市町村たばこ税	967,995	3.4		
鉱産税	-	-		
特別土地保有税	-	-		
法定外普通税	-	-		
目的税	1,792,022	6.3		
法定目的税	1,792,022	6.3		
入湯税	-	-		
事業所税	-	-		
都市計画税	1,792,022	6.3		
水利地益税等	-	-		
法定外目的税	-	-		
旧法による税	-	-		
合計	28,512,262	100.0	348	

公営事業等への繰出					国民健康保険事業会計の状況				
区分	平成30年度	平成29年度	徴収率(%)	現・計	合計	実質収支	再差引収支	加入世帯数(世帯)	被保険者数(人)
合計	3,043,573		99.1	97.1	173,903	173,903	-85,645	17,758	27,129
下水道	786,993		98.8	95.6					
介護サービス	245,362		99.3	98.1					
宅地造成	78,462								
上水道	17,796								
国民健康保険	747,080								
その他	1,167,880								

歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	382,826	0.8	-	382,826
総務費	9,071,034	17.8	204,609	8,557,057
民生費	22,974,454	45.2	672,942	10,556,131
衛生費	3,665,663	7.2	16,092	3,060,121
労働費	59,717	0.1	-	9,715
農林水産業費	5,272	0.0	-	1,914
商工費	328,622	0.6	-	265,655
土木費	4,877,770	9.6	1,989,134	2,971,298
消防費	1,526,703	3.0	220,843	1,405,672
教育費	4,732,872	9.3	541,231	3,817,749
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	3,233,010	6.4	-	3,153,776
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	50,857,943	100.0	3,644,851	34,181,914

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	26,463,175	52.0	14,941,802	14,814,197	49.1
人件費	7,177,994	14.1	6,827,579	6,733,331	22.3
うち職員給	5,226,742	10.3	4,884,338	-	-
扶助費	16,052,171	31.6	4,960,447	4,927,090	16.3
公債費	3,233,010	6.4	3,153,776	3,153,776	10.4
元利償還金	3,233,010	6.4	3,153,776	3,153,776	10.4
うち元金	3,030,797	6.0	2,951,999	2,951,999	9.8
うち利子	202,213	0.4	201,777	201,777	0.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	20,749,917	40.8	17,957,926	11,538,312	38.2
物件費	8,845,331	17.4	7,182,273	6,246,371	20.7
維持補修費	203,900	0.4	159,277	157,543	0.5
補助費等	4,494,505	8.8	4,119,330	3,429,045	11.4
うち一部事務組合負担金	803,161	1.6	803,161	600,454	2.0
繰入金	2,238,784	4.4	1,791,461	1,705,353	5.6
積立金	4,818,164	9.5	4,704,272	-	-
投資・出資金・貸付金	149,233	0.3	1,313	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,644,851	7.2	1,282,186	-	-
うち人件費	20,861	0.0	20,861	-	-
普通建設事業費	3,644,851	7.2	1,282,186	-	-
うち補助	1,876,657	3.7	559,045	-	-
うち単独	1,768,194	3.5	723,141	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	50,857,943	100.0	34,181,914	-	-

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成30年度 埼玉県 埼玉県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	51,961	49,476	2,484	2,422	1,142	23,804	
2 市民医療センター	886	820	66	66	390	1,145	
3 海外留学奨学事業	4	4	0	0	-	-	
4 火災共済事業	3	2	0	0	-	-	
5 新曽第一土地区画整理事業	888	747	141	100	403	576	
6 新曽第二土地区画整理事業	985	919	66	41	191	706	
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							

# (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成30年度

埼玉県戸田市

人	139,616	人(H31.1.1現在)	-	%
うち日本人	132,340	人(H31.1.1現在)	-	%
面積	18.19	km <sup>2</sup>		
歳入総額	53,615,949	千円	実質赤字比率	5.0
歳出総額	50,857,943	千円	実質赤字比率	18.7
実質収支	2,630,055	千円	実質公債費比率	18.7
標準財政規模	30,131,262	千円	市町村類型	H26 III-1 H27 III-3 H28 III-3
地方債現在高	23,776,581	千円	(年度毎)	H29 III-3 H30 III-3



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

## 財政力

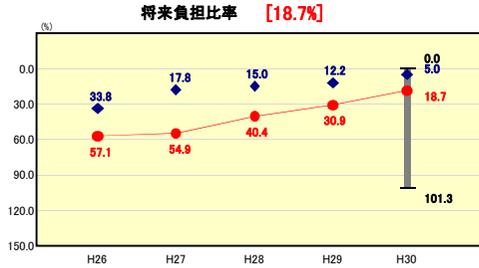
類似団体内順位 2/50 全国平均 0.51 埼玉県平均 0.79



**財政力指数の分析欄**  
 東京都と隣接した立地等の要因から安定した固定資産税収入があり、また、市民税が伸びていることから、財政力指数は類似団体平均を上回っており、これまで不交付団体を維持している。その一方で、全国平均を上回る人口増加率と出生率等による財政需要の増加も見込まれていることから、引き続き行政の効率化や歳入確保に努める。

## 将来負担の状況

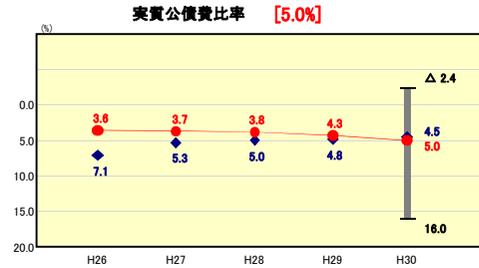
類似団体内順位 31/50 全国平均 28.9 埼玉県平均 18.3



**将来負担比率の分析欄**  
 依然として類似団体平均、県平均を上回っているが、一般会計等の地方債残高が減少したことや、下水道事業の地方債償還に充てる一般会計からの繰入見込額が減ったこと、また、充当可能基金が約37億円増加したことや、分母となる標準財政規模が約12億円増加したことにより、前年度と比較して12.2ポイント減少した。引き続き、将来に過度な財政負担を残さない健全な財政運営に努めていく。

## 公債費負担の状況

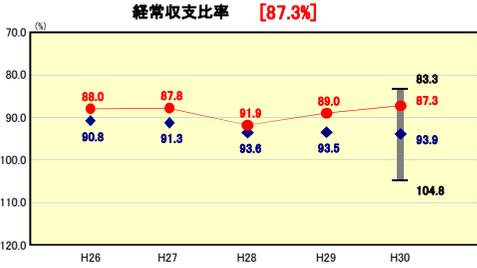
類似団体内順位 27/50 全国平均 6.1 埼玉県平均 4.8



**実質公債費比率の分析欄**  
 実質公債費比率は前年度比と比較して0.7ポイント増加し、類似団体平均や県平均を下回ることとなった。これは、元利償還金の額が、土地開発公社健全化に伴う先行取得事業や上戸地域交流広場整備工事などの償還が始まったこと等によるものである。今後も公共施設の建替えによる公債費の増加が見込まれることから、世代間負担のバランスを図りながら、財源が起債に大きく偏ることのないよう、健全な財政運営に努める。

## 財政構造の弾力性

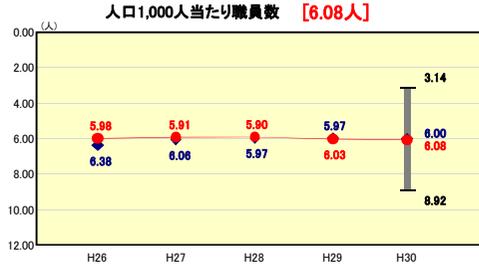
類似団体内順位 5/50 全国平均 93.0 埼玉県平均 93.9



**経常収支比率の分析欄**  
 平成30年度において、経常的な繰入金が14.6億円減少したことにより、経常収支比率は平成29年度に引き続き減少した。今後は、公共施設の建替等による公債費の増加が見込まれることから、事業の見直しなどにより効率化を図り、比率の抑制に努める。

## 定員管理の状況

類似団体内順位 30/50 全国平均 7.95 埼玉県平均 6.45



**人口1,000人当たり職員数の分析欄**  
 職員数については、平成28年度～平成30年度を期間とする戸田市定員管理計画に基づき、平成25年度4月1日の職員数898人を維持確保することを目標に取り組んできた。引き続き、大幅な事務事業の見直し、外部委託や指定管理の導入を図りつつ、財政事情等の変動要因、市民サービス向上に向けた新たな事業展開、また本市における人口増加等を視野に入れ、業務量に応じた適正な定員管理を行っていく。

## 人件費・物件費等の状況

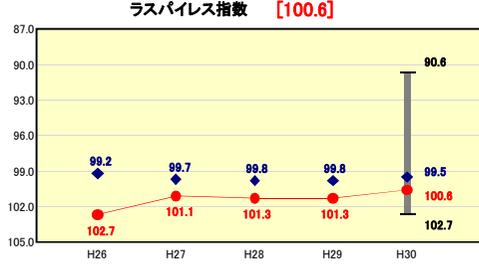
類似団体内順位 30/50 全国平均 132,793 埼玉県平均 108,088



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 人口1人当たり人件費・物件費については、前年度と比較してほぼ横ばいであり、類似団体平均と比較すると若干上回っている状況となった、今後も質の高いサービスを行うと同時に、職員一人一人がコスト意識を強く持ち、一層の経費の縮減に努める。

## 給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 35/50 全国市平均 98.9 全国町村平均 96.3



**ラスパイレース指数の分析欄**  
 本市は若手の積極的な登用を進めていることから、同年代の国家公務員よりも昇任ペースが早い傾向があり、結果的にラスパイレース指数を押し上げているが、人事院勧告の内容や国、他の地方公共団体の状況等を総合的に勘案し、今後もさらなる給与適正化に努めていく。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

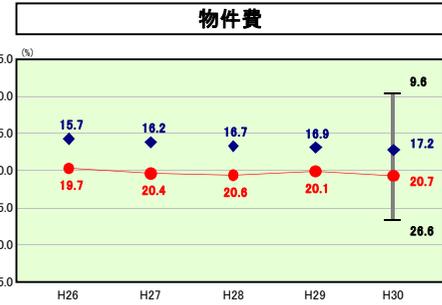
埼玉県戸田市

## 経常収支比率の分析

人口	139,616	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	132,340	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	18.19	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	5.0	%
歳入総額	53,615,949	千円	将来負担比率	18.7	%
歳出総額	50,857,943	千円			
実質収支	2,630,055	千円	市町村類型	H26 III-1 H27 III-3 H28 III-3	
標準財政規模	30,131,262	千円	(年度毎)	H29 III-3 H30 III-3	
地方債現在高	23,776,581	千円			



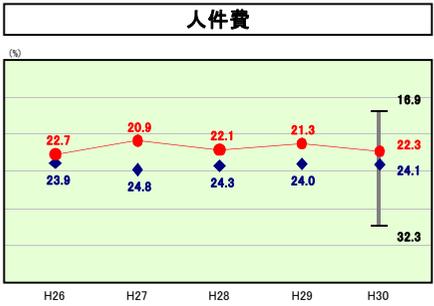
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 43/50 全国平均 14.7 埼玉県平均 18.3

#### 物件費の分析欄

物件費の比率については、前年度より0.6ポイント増加し、依然として類似団体平均、県平均を下回っている。水循環センター上部公園が新たにオープンしたことによる維持管理経費の増加もあり、比率が前年度より悪化したこともあり、さらなる事務の効率化等の見直しを行い、適正化に努める必要がある。



類似団体内順位 15/50 全国平均 25.6 埼玉県平均 25.4

#### 人件費の分析欄

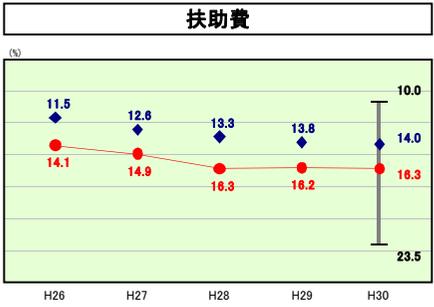
人件費の比率は類似団体平均、県平均を下回って推移しているが、給料の増により前年度と比較して1ポイント増加した。今後も引き続き、指定管理者制度の導入等、人件費関係経費全体について、さらなる適正化へ向けての取り組みを進める。



類似団体内順位 30/50 全国平均 10.2 埼玉県平均 9.6

#### 補助費等の分析欄

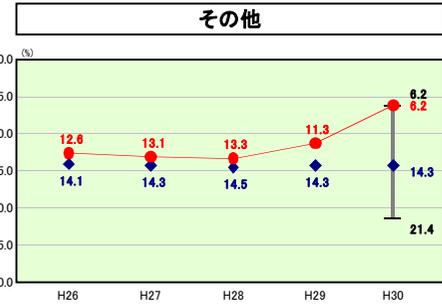
補助費等の比率については、ほぼ横ばいで推移しているが、前年度から0.4ポイント増加した。要因としては、学童保育室運営等事業費補助金の増等によるものである。



類似団体内順位 41/50 全国平均 12.6 埼玉県平均 13.5

#### 扶助費の分析欄

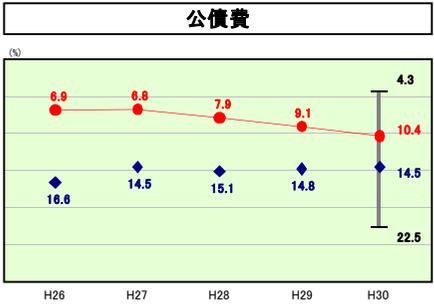
扶助費の比率については、0.1ポイント増加し、類似団体平均、県平均を上回っている。要因としては、待機児童対策として、民間保育所の増設を行ったことに伴う児童福祉関連経費の増加が挙げられる。今後も子育て世代の多い本市では扶助費の増加が見込まれるが、市単独事業について適宜見直しを図るなど、適正化に努める。



類似団体内順位 1/50 全国平均 13.3 埼玉県平均 12.7

#### その他の分析欄

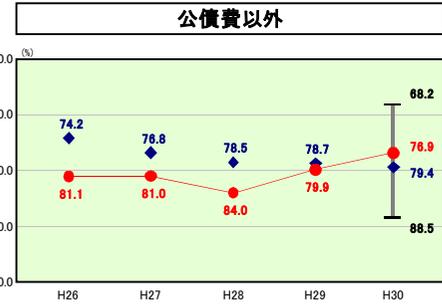
その他のものとしては、繰出金や維持補修費等があり、比率は前年度から5.1ポイント減少した。主要因としては、国民健康保険特別会計への繰出金が減少したことが挙げられる。引き続き事業の適正化を図り、繰出金の抑制に努める。



類似団体内順位 9/50 全国平均 16.6 埼玉県平均 14.4

#### 公債費の分析欄

公共施設の大規模改修や公共用地先行取得事業債に係る市債の元利償還が増加し、前年度より1.3ポイント増加したが、類似団体平均や県平均は引き続き下回っている。今後も公債費のさらなる増加が見込まれることから、引き続き計画的な財源の確保に努め、健全な財政の維持を図る。



類似団体内順位 15/50 全国平均 76.4 埼玉県平均 79.5

#### 公債費以外の分析欄

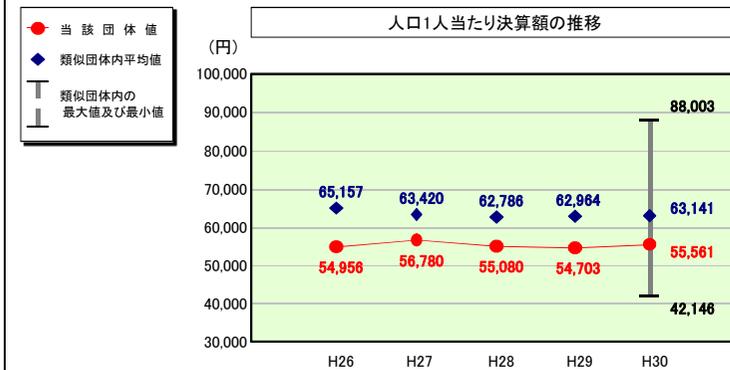
公債費以外の比率については、前年度より3ポイント減少し、類似団体平均、県平均を上回った。しかしながら、扶助費や物件費においては類似団体と比較した比率の差が大きいことから、今後も引き続き行財政改革を進めていくことで、上昇幅を抑制するように努める。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

埼玉県戸田市

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

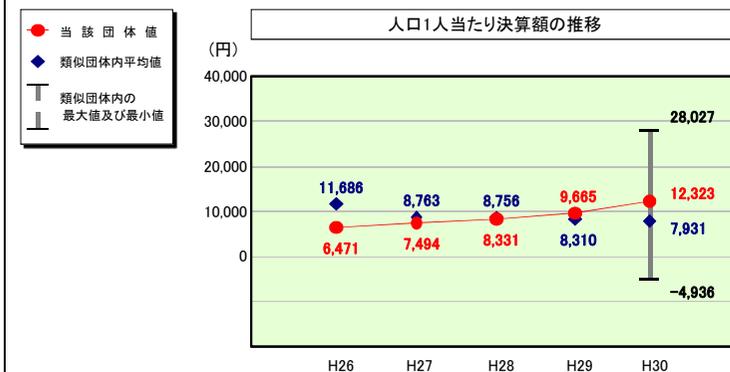
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	7,177,994	51,412	56,739	▲ 9.4
賃金(物件費)	720,324	5,159	3,644	▲ 41.6
一部事務組合負担金(補助費等)	67,807	486	3,408	▲ 85.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	49,589	355	508	▲ 30.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	12	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	206,338	1,478	2,329	▲ 36.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	20,861	149	1,096	▲ 86.4
▲退職金	▲ 485,710	▲ 3,479	▲ 4,593	▲ 24.3
合計	7,757,203	55,561	63,141	▲ 12.0

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.08	6.00	0.08
ラスパイレス指数	100.6	99.5	1.1

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

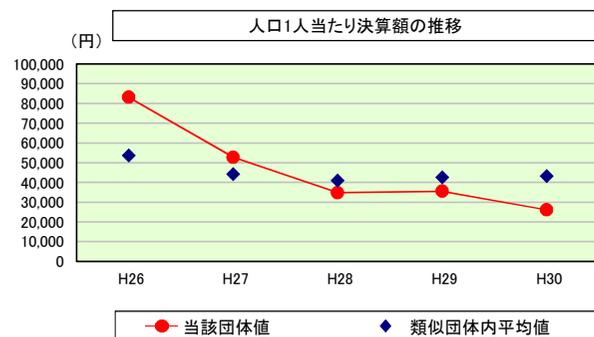


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,233,010	23,156	32,265	▲ 28.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	32	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	434,749	3,114	6,764	▲ 54.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	51,518	369	1,228	▲ 70.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	25,996	186	1,060	▲ 82.5
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 450,467	▲ 3,226	▲ 6,969	▲ 53.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,574,255	▲ 11,276	▲ 26,451	▲ 57.4
合計	1,720,551	12,323	7,931	55.4

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

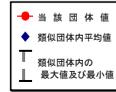
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H26	11,040,210	83,084	23.9	53,605	5.4	18.5
うち単独分	6,740,519	50,726	15.2	28,343	11.7	3.5
H27	7,130,547	52,724	▲ 36.5	44,267	▲ 17.4	▲ 19.1
うち単独分	5,246,247	38,791	▲ 23.5	26,161	▲ 7.7	▲ 15.8
H28	4,774,561	34,770	▲ 34.1	40,879	▲ 7.7	▲ 26.4
うち単独分	3,376,955	24,592	▲ 36.6	24,087	▲ 7.9	▲ 28.7
H29	4,923,701	35,489	2.1	42,651	4.3	▲ 2.2
うち単独分	3,646,554	26,284	6.9	22,675	▲ 5.9	12.8
H30	3,644,851	26,106	▲ 26.4	43,226	1.3	▲ 27.7
うち単独分	1,768,194	12,665	▲ 51.8	22,622	▲ 0.2	▲ 51.6
過去5年間平均	6,302,774	46,435	▲ 14.2	44,926	▲ 2.8	▲ 11.4
うち単独分	4,155,694	30,612	▲ 18.0	24,778	▲ 2.0	▲ 16.0

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

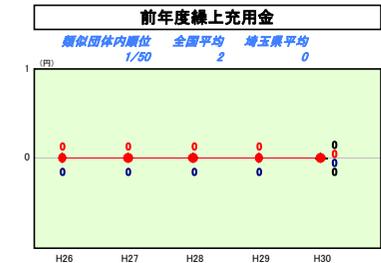
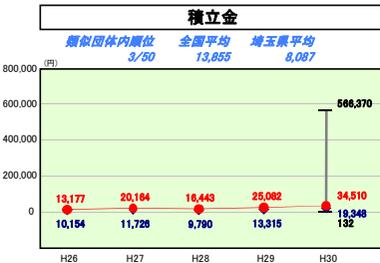
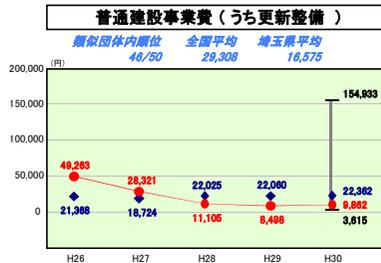
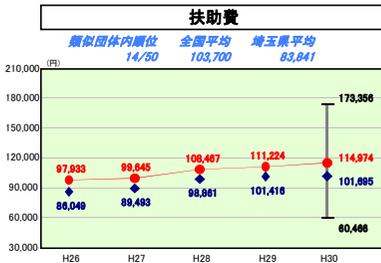
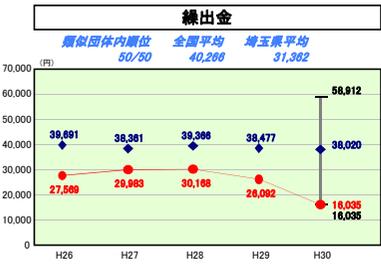
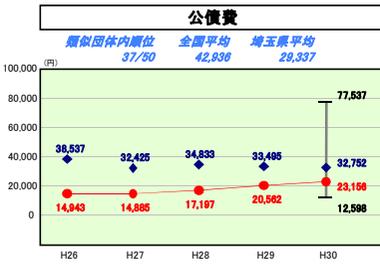
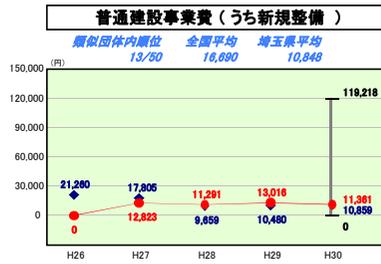
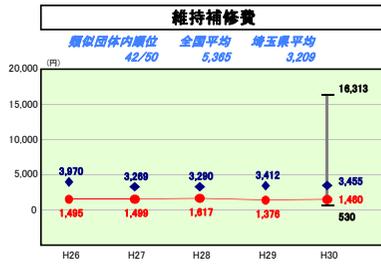
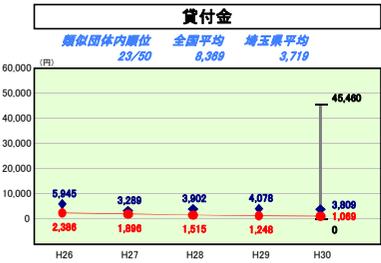
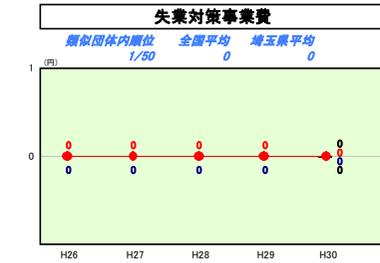
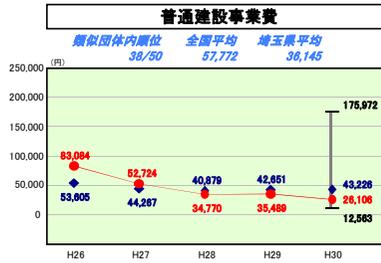
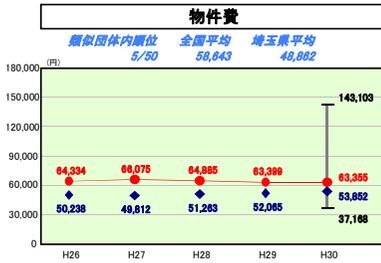
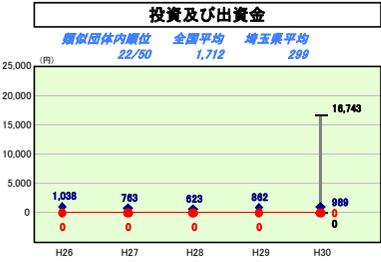
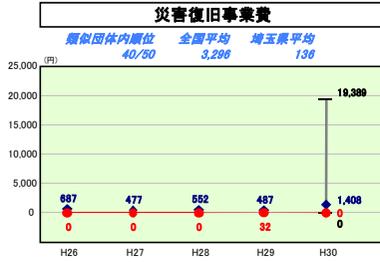
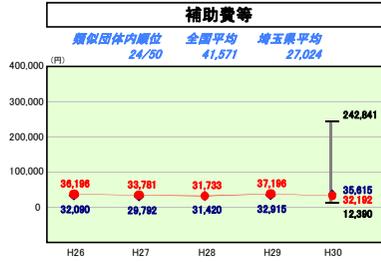
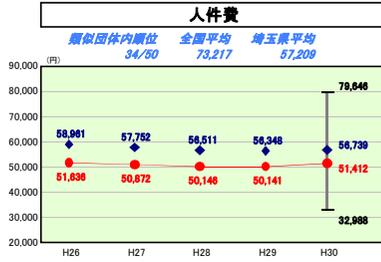
平成30年度

埼玉県戸田市

人口	139,616人(081.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	132,340人(081.1.1現在)	通称実質赤字比率	-	%
面積	18.19 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	5.0	%
歳入総額	53,615,949千円	得率負担比率	18.7	%
歳出総額	50,857,943千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3	
実質収支	2,630,055千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3	
標準財政規模	30,131,262千円			
地方債現在高	23,776,581千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析

扶助費は全体で最も決算額が大きく、住民一人当たり114,974円となっており、続けて増加している状況である。増加の主な要因としては、特機児童対策として民間保育所が増設され、民間保育所運営費などの児童福祉関連経費が伸びていることが挙げられる。物件費については多くの公共施設で指定管理者制度を導入していることなどから、住民一人当たり63,355円と類似団体平均と比べて高い水準にある。普通建設事業費については、前年度から減少し、住民一人当たり26,106円となった普通建設事業費のうち、新規整備については類似団体平均を上回ったが、民間保育所の新規整備等が影響しているものである。公債費については、類似団体平均を下回った額で推移しているが、上昇傾向にあり、今後も、老朽化した施設の大規模改修や建替えに係る起債に伴い増加していくことが見込まれる。繰出金については、国民健康保険特別会計繰出金の減少等により住民一人当たりの額は16,035円となり、極めて低い水準となっている。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

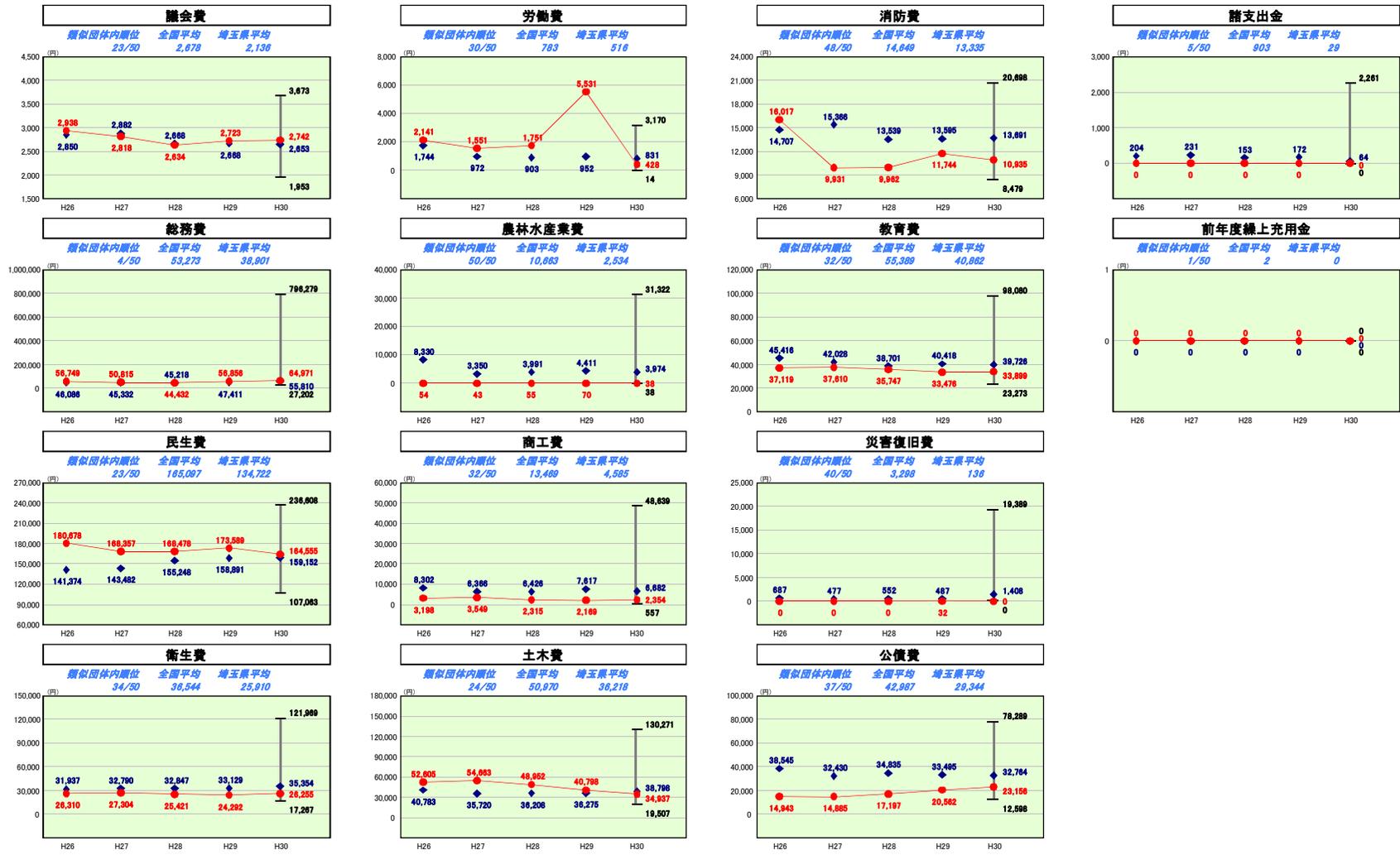
平成30年度

埼玉県戸田市

人口	139,616人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	132,340人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	18.19km <sup>2</sup>	実質公債費比率	5.0	%
歳入総額	53,615,949千円	将来負担比率	18.7	%
歳出総額	50,857,943千円	村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3	
実質収支	2,658,006千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3	
標準財政規模	30,131,252千円			
地方債現在高	23,776,581千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



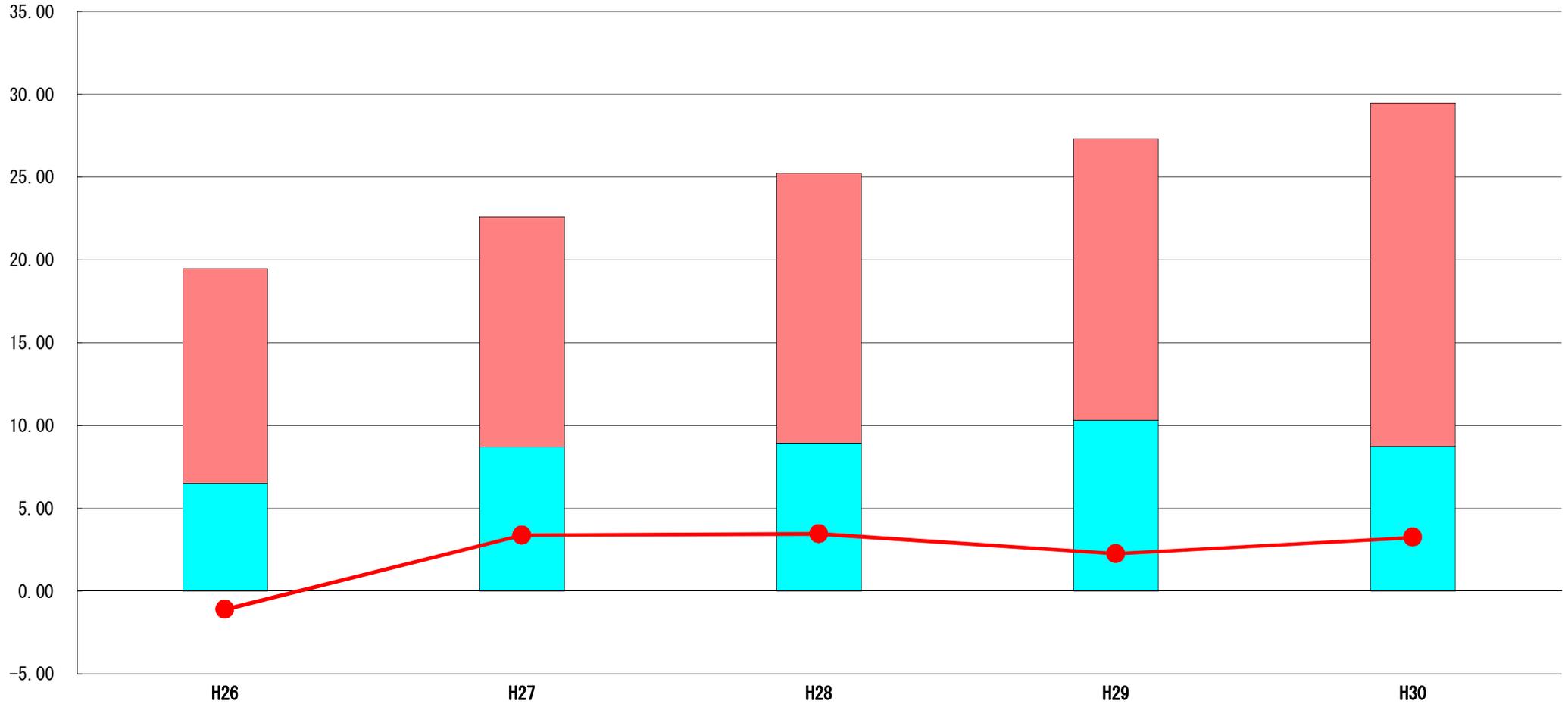
**目的別歳出の分析概**  
 民生費は、住民一人当たり164,555円となっており、類似団体を上回っている。これは、本市が子育て環境の充実を図るため、重点施策として取り組んできたことによるものである。労働費は平成29年度に中小企業従業員退職金等福祉共済事業の廃止に伴う資産移管の負担があったことから、前年度と比較して大きく減少している。土木費は公共用地先行取得事業に係る用地購入費の減少により5,861円減少し、類似団体平均を下回った。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成30年度

埼玉県戸田市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
 財政調整基金残高		12.98	13.89	16.29	16.99	20.74
 実質収支額		6.51	8.71	8.95	10.34	8.73
 実質単年度収支		▲ 1.10	3.38	3.46	2.26	3.25

分析欄

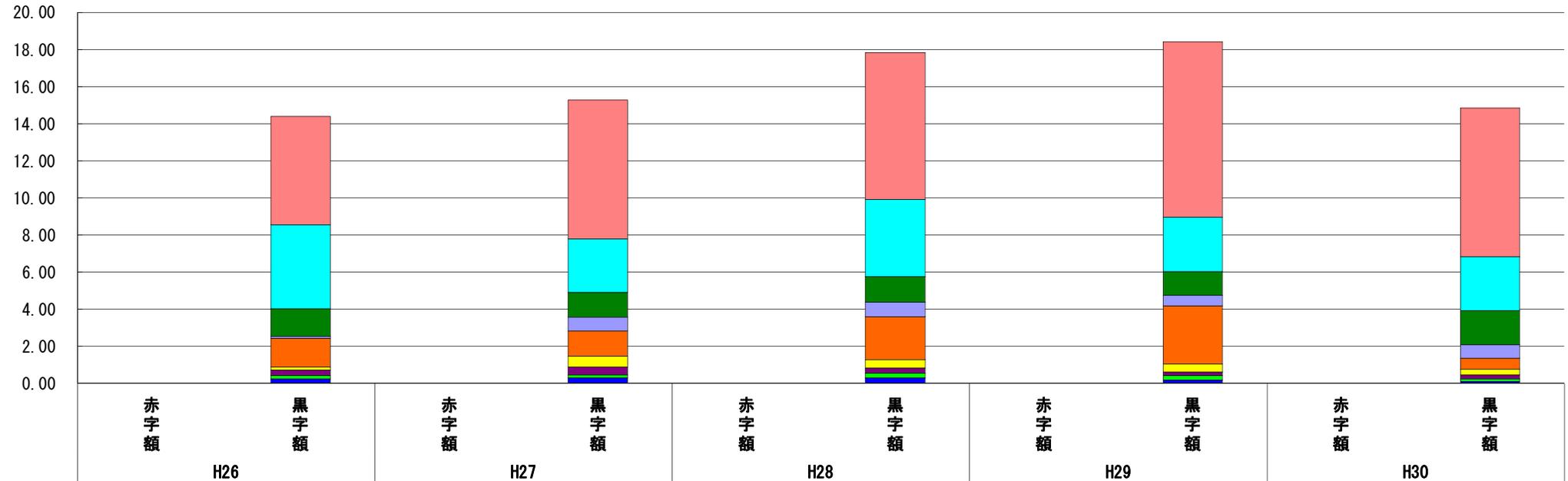
財政調整基金残高の標準財政規模比については、前年度と比較して3.75ポイント増加し、残高としては約13億3千万円増加している。財政調整基金の新規積立は決算状況に応じて積立金を予算化しており結果として取崩し額を上回った。実質収支額については、法人市民税の減少等の要因により、前年度と比べて1.61ポイント減となった。実質単年度収支は、積立金の増により0.99ポイント増加した。

## (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成30年度

埼玉県戸田市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H26	H27	H28	H29	H30
一般会計		5.83	7.50	7.92	9.48	8.03
水道事業会計		4.54	2.86	4.17	2.94	2.91
下水道事業会計		1.49	1.33	1.38	1.26	1.83
介護保険		0.10	0.76	0.77	0.58	0.74
国民健康保険		1.55	1.36	2.32	3.15	0.57
新曽第一土地区画整理事業		0.18	0.59	0.47	0.42	0.33
市民医療センター		0.29	0.42	0.26	0.18	0.21
新曽第二土地区画整理事業		0.18	0.16	0.27	0.24	0.13
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.24	0.30	0.29	0.19	0.11

### 分析欄

連結実質赤字比率については、-14.90%で、前年度に比べて3.57ポイント減少した。分母となる標準財政規模については、約1億2千万円の増となっている。標準財政規模に対する黒字額の割合では、一般会計が1.45ポイント、国民健康保険特別会計で2.58ポイント減少したことが、連結実質赤字比率を増加することに繋がった。

現状全ての会計において、実質収支は黒字になっているものの、一般会計からの繰出金が多額となっている会計も複数あることから、今後も健全な財政運営を図る。

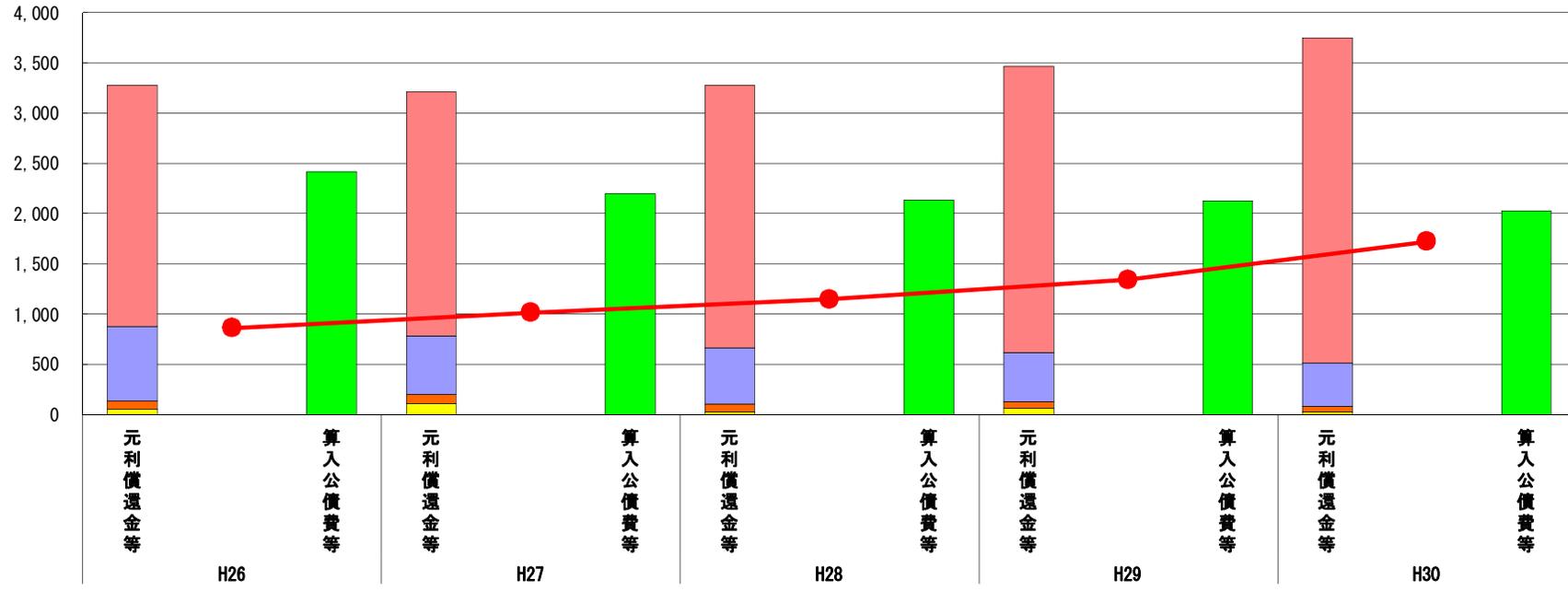
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

埼玉県戸田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,400	2,428	2,614	2,853	3,233
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		741	581	557	489	435
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		86	91	81	65	52
	債務負担行為に基づく支出額		48	109	25	61	26
算入公債費等 (B)	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
	算入公債費等		2,415	2,196	2,132	2,127	2,025
(A) - (B)		● 実質公債費比率の分子	860	1,013	1,145	1,341	1,721

**分析欄**

実質公債費比率の分子については、前年度と比べて約3.8億円の増加となった。主要因として、元利償還金が3.8億円増加したことが挙げられ、これは土地開発公社健全化に係る公共用地先行取得事業債等の元利償還が始まったことによるもの。引き続き市債の適切な活用に努め、一定水準を維持し健全な財政運営を図る。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

※2 減債基金積立状況等		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
減債基金残高(注)							
減債基金積立相当額							

**分析欄**

本市においては減債基金はない。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

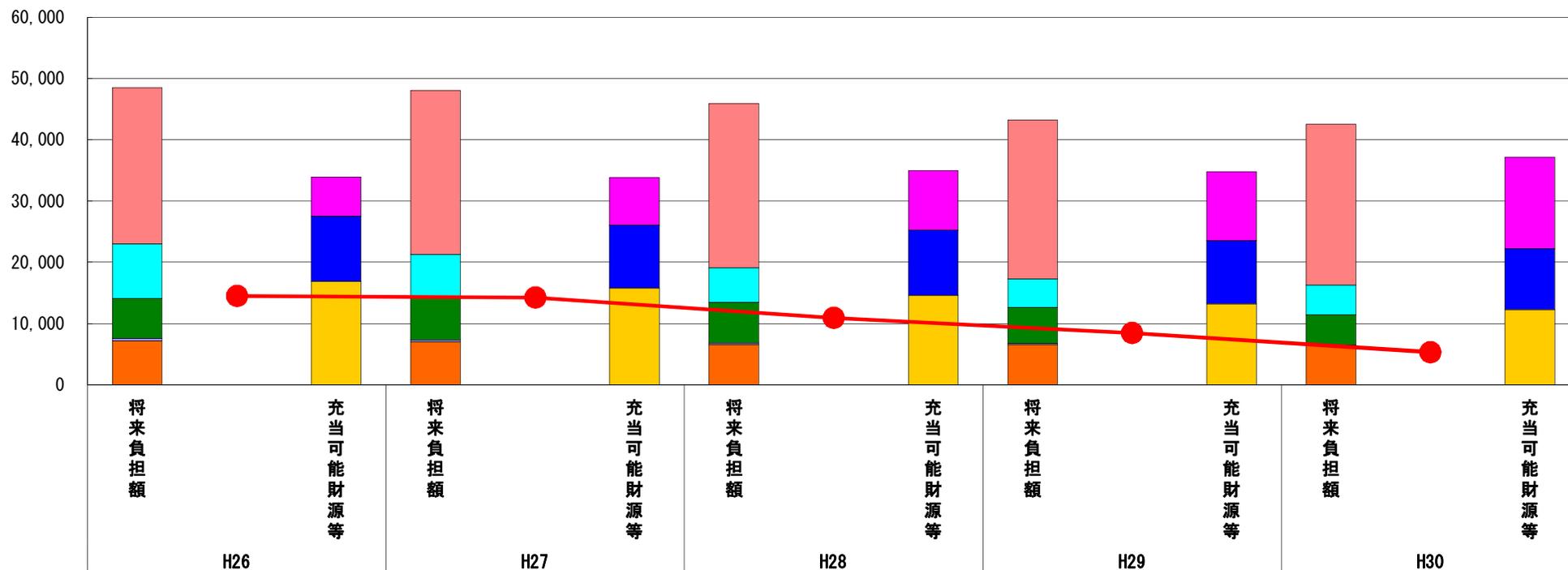
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

埼玉県戸田市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		25,461	26,776	26,750	25,890	26,231
	債務負担行為に基づく支出予定額		8,932	6,977	5,691	4,716	4,792
	公営企業債等繰入見込額		6,441	6,957	6,585	5,880	5,003
	組合等負担等見込額		474	350	242	151	82
	退職手当負担見込額		7,144	7,021	6,604	6,555	6,373
	設立法人等の負債額等負担見込額		0	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		6,406	7,753	9,734	11,188	14,920
	充当可能特定歳入		10,697	10,261	10,618	10,302	9,918
	基準財政需要額算入見込額		16,845	15,794	14,562	13,252	12,300
(A) - (B)	将来負担比率の分子		14,504	14,271	10,957	8,450	5,343

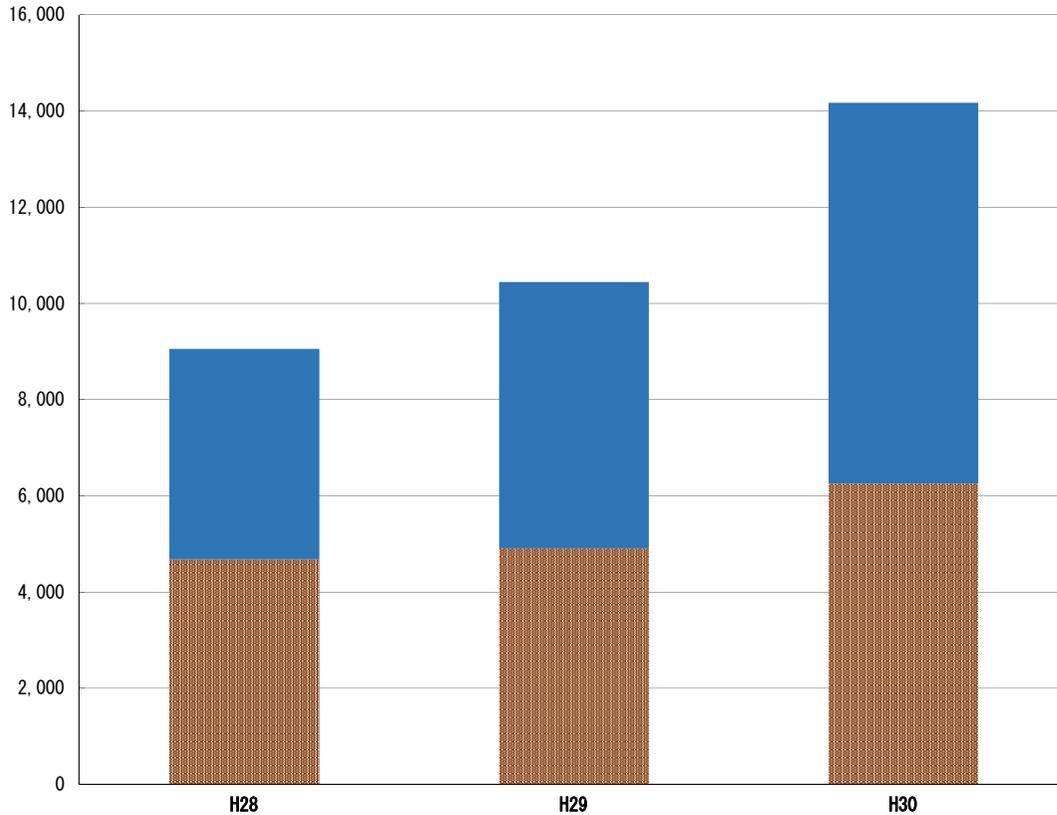
## 分析欄

将来負担比率の分子については、前年度と比べ、約31億円の減となった。主な要因としては、充当可能基金の残高が約37億円増加したことによるものである。今後、公共施設の老朽化による大規模な施設整備が集中するため、一時的に地方債残高が上昇することが見込まれている。将来に過度な財政負担を残さないよう、計画的な市債借入れを行い、健全な財政運営を図る。公共施設等整備基金

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	H28	H29	H30
財政調整基金		4,678	4,911	6,250
減債基金		-	-	-
その他特定目的基金		4,376	5,538	7,927
公共施設等整備基金		1,851	3,982	6,095
都市開発基金		1,289	970	1,254
教育基金		200	200	198
環境対策基金		207	203	198
海外留学奨学基金		159	154	151
基金残高合計		9,054	10,449	14,177

平成30年度

埼玉県戸田市

## 基金全体

(増減理由)

主には財政調整基金及び公共施設等整備基金の増加により、基金全体の残高は前年度と比べて約37億円増加している。これらは今後の社会保障費の増加や災害対応、老朽化した公共施設の整備に備えるため、新規積立を行ったものである。

(今後の方針)

当初予算編成時の財源の状況や決算状況を考慮しながら、一定水準の基金残高を維持し、今後の財政需要に備える。

## 財政調整基金

(増減理由)

財政調整基金については、当初予算編成における財源の状況により取崩し、積立ては財産収入（運用利子）のほか、決算状況に応じて予算化し実施している。今後の財源の不足や災害等に備え新規積立を行ったことにより残高が増加している。

(今後の方針)

他の財源の状況を考慮しながら社会保障費の増加や災害等に備えるため、基金残高を確保していく。

## 減債基金

(増減理由)

本市においては、減債基金はない。

(今後の方針)

## その他特定目的基金

(基金の用途)

公共施設等整備基金：公共用または公用の施設の整備  
 都市開発基金：都市開発関連事業  
 教育基金：中学生及び高校生の教育の向上及び振興  
 環境対策基金：環境対策事業  
 海外留学奨学基金：市民が海外の教育機関に留学するための資金

(増減理由)

公共施設等整備基金については、今後、小中学校をはじめとする老朽化した公共施設の更新や大規模改修が集中することに備え、新規積立を行ったため残高が増加している。都市開発基金については、取崩しを行わず、財産収入の積立てを行ったことから残高が増加している。

(今後の方針)

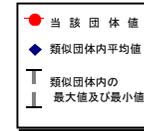
公共施設等整備基金及び都市開発基金については、対象事業において今後も多額の資金を必要とすることから、市債の借入れともバランスを取りながら計画的に取り崩し、新規積立を実施し、基金残高を確保していく。その他の基金については、これまでと同程度の水準で運用していく。

# (12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

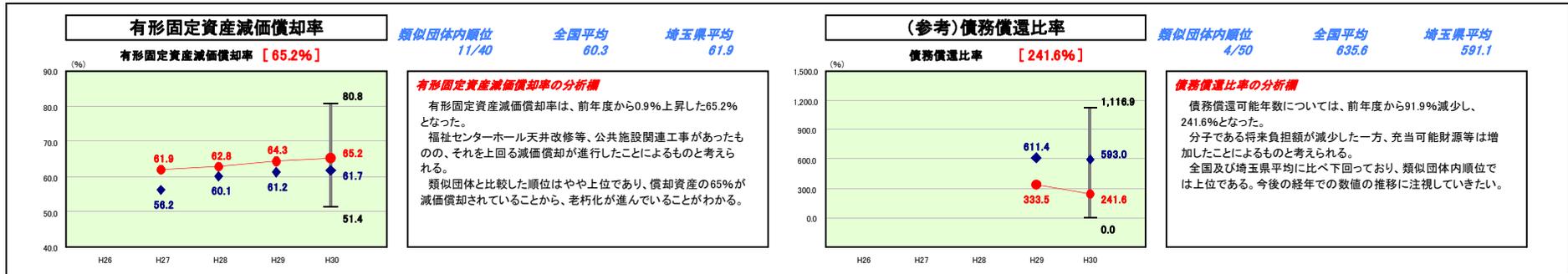
平成30年度

埼玉県戸田市

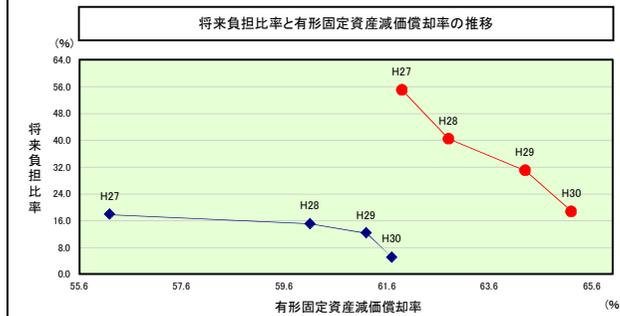
人口	139,616	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	132,340	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	18.19	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	5.0	%
歳入総額	53,615,949	千円	将来負担比率	18.7	%
歳出総額	50,857,943	千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3	
実質収支	2,630,055	千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3	
標準財政規模	30,131,282	千円			
地方債現在高	23,776,581	千円			



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出してない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



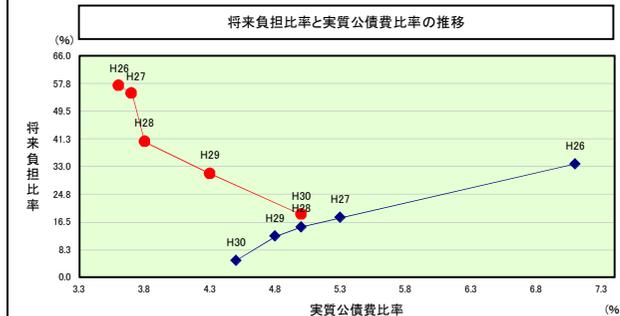
### 分析概

将来負担比率は12.2%減少した18.7%となり、有形固定資産減価償却率は0.9%上昇した65.2%となっている。将来負担比率が下がった要因は、分子が減少したことによるもので、将来負担額については、公営企業債等繰入見込額及び退職手当負担見込額の減により減少したこと、充当可能財源等については、充当可能基金が増加したことが挙げられる。有形固定資産減価償却率は今後も増加傾向にあることを踏まえ、公共施設の老朽化に対応した計画が必要であることがわかる。

### (参考)

		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率		54.9	40.4	30.9	18.7
	有形固定資産減価償却率		61.9	62.8	64.3	65.2
類似団体内平均値	将来負担比率		17.8	15.0	12.2	5.0
	有形固定資産減価償却率		56.2	60.1	61.2	61.7

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



### 分析概

将来負担比率は平成26年度と比較して38.4%減少した18.7%となっているが、これは主に土地開発公社経営健全化計画により、債務負担行為に基づく支出予定額が減少したことによるものである。一方、実質公債費比率は平成26年度と比較して1.4%増加した5.0%となっているが、これは過去に借入をした地方債の償還が本格化したことによる影響が主な要因である。類似団体の傾向は将来負担比率、実質公債費比率ともに減少している傾向にあるが、これと異なる傾向となっているのは、上述した土地開発公社経営健全化への対応として公共事業先行取得事業債の借入等の償還が本格化してきたことの影響と考えられる。

### (参考)

		H26	H27	H28	H29	H30
当該団体値	将来負担比率	57.1	54.9	40.4	30.9	18.7
	実質公債費比率	3.6	3.7	3.8	4.3	5.0
類似団体内平均値	将来負担比率	33.8	17.8	15.0	12.2	5.0
	実質公債費比率	7.1	5.3	5.0	4.8	4.5

# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

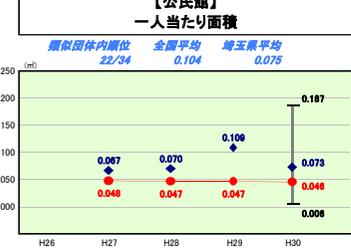
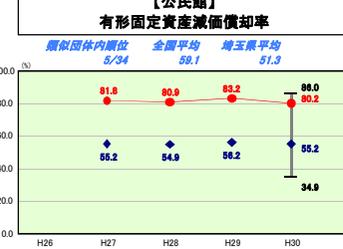
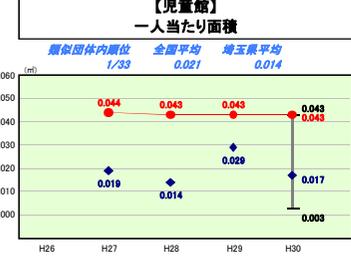
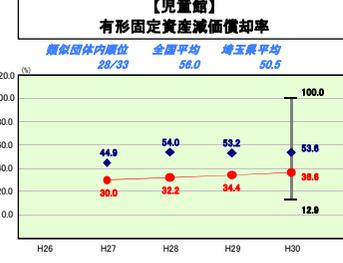
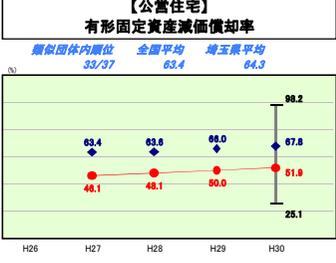
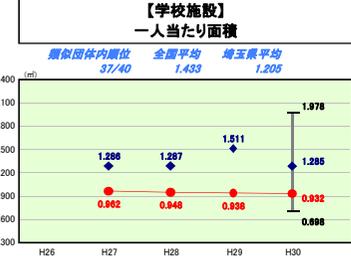
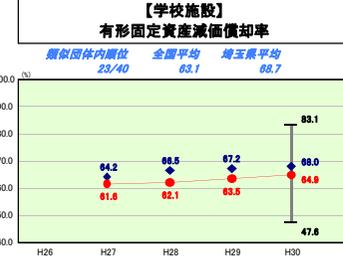
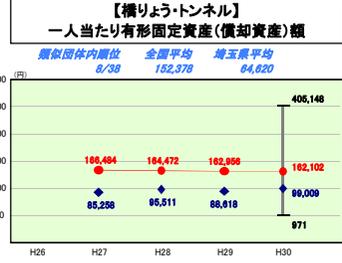
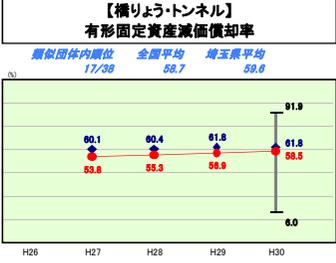
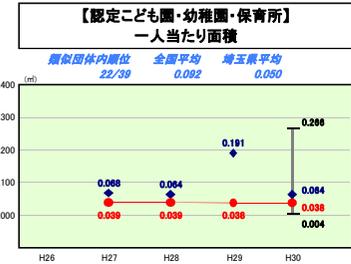
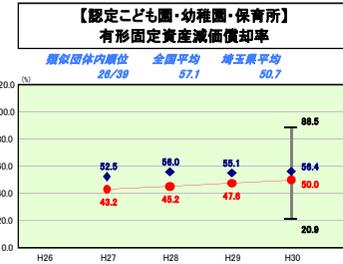
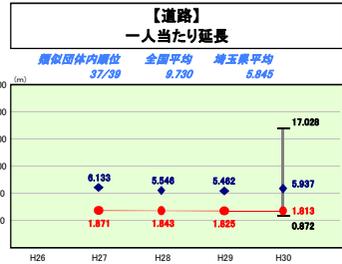
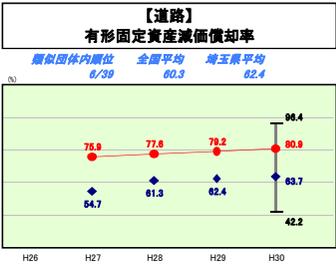
平成30年度

埼玉県戸田市

人口	139,616	人(931.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	132,340	人(931.1.1現在)	通称実赤字比率	-	%
面積	18.19	km <sup>2</sup>	実公費費比率	5.0	%
歳入総額	53,615,949	千円	将来負担比率	18.7	%
歳出総額	50,867,943	千円	市町村類型	H26 Ⅲ-1 H27 Ⅲ-3 H28 Ⅲ-3	
実収支	2,630,055	千円	(年度毎)	H29 Ⅲ-3 H30 Ⅲ-3	
標準財政規模	30,131,262	千円			
地方債現在高	23,776,581	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**施設情報の分析**  
 有形固定資産減価償却率は多くの項目で上昇している状況である。人口一人当たり面積等については全ての項目で減少又は横ばいとなっているが、これは分母項目である人口が増加していることが要因である。また、児童館を除き、類似団体内平均を下回る状況となっている。  
 施設類型別で見ると、有形固定資産減価償却率が比較的高い水準にあるものを挙げると、道路(80.9%)と公民館(80.2%)が挙げられ、これらについては公共施設の老朽化対策の必要性が高い類型であることが読み取れる。  
 施設類型別ストック情報を活用し、今後も経年では指標を分析し、施設の計画的な修繕と長寿命化を推進していく。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

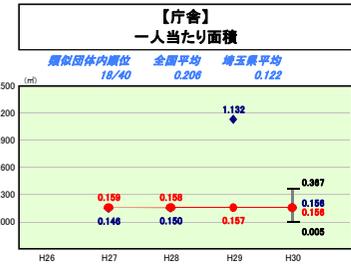
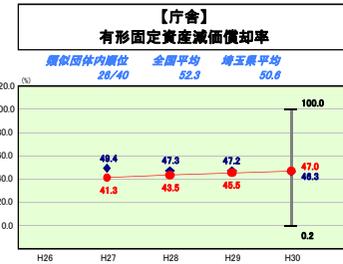
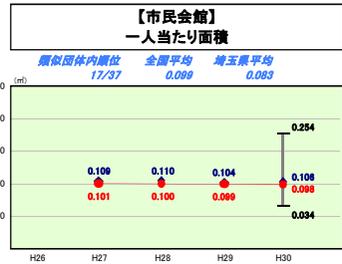
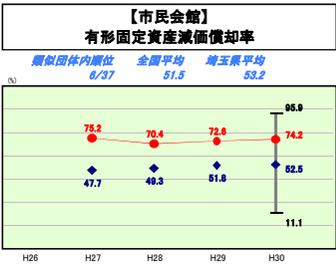
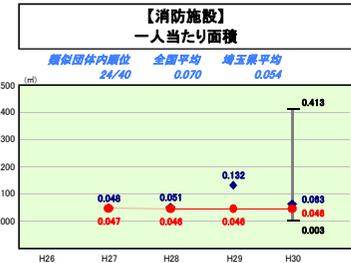
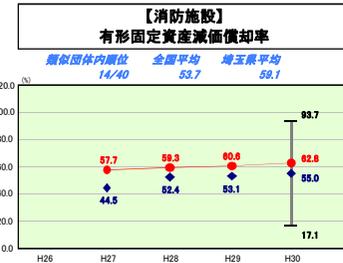
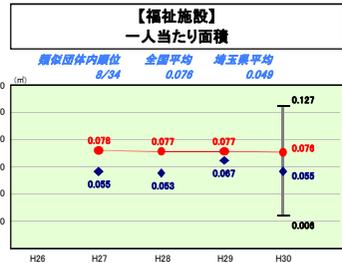
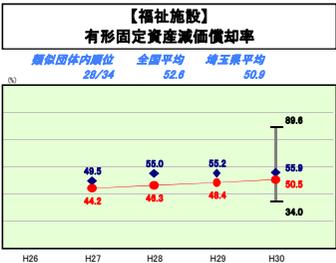
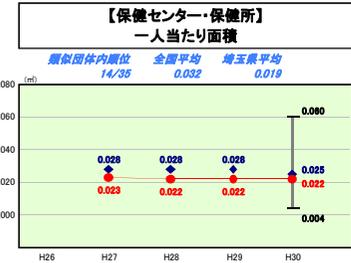
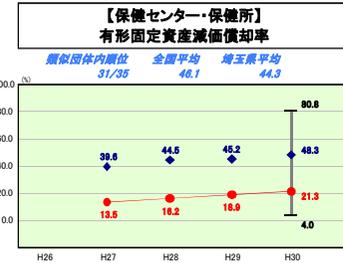
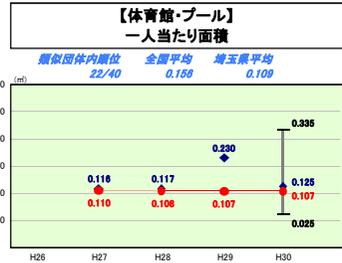
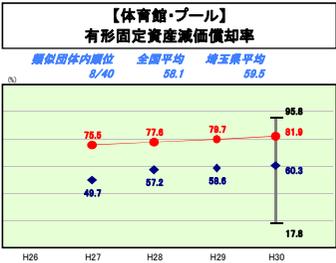
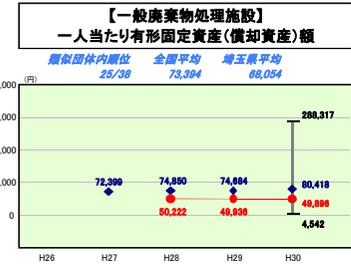
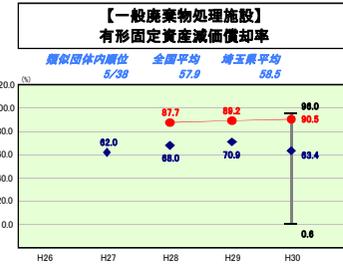
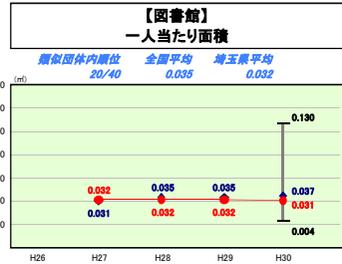
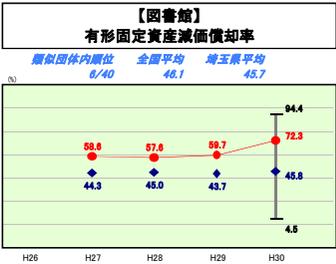
平成30年度

埼玉県戸田市

人口	139,616人 (Q31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	132,340人 (Q31.1.1現在)	通称実赤字比率	-%
面積	18.19km <sup>2</sup>	実公費費比率	5.0%
歳入総額	53,615,940千円	将来負担比率	18.7%
歳出総額	50,867,043千円	市町村類型	H26 III-1 H27 III-3 H28 III-3
実収支	2,630,055千円	(年度毎)	H29 III-3 H30 III-3
標準財政規模	30,131,262千円		
地方債現在高	23,776,581千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 追加情報の分析欄

有形固定資産減価償却率は多くの項目で増加している。人口一人当たり面積等については全ての項目で減少又は横ばいとなっているが、これは母数の項目である人口が増加していることが要因である。  
 施設類型別で見ると、類似団体内平均と比べ、図書館(72.3%)及び体育館・プール(81.9%)が特に高く、老朽化対策の必要性が高いことがわかる。  
 施設業計画ストック情報を活用し、今後も経年で指標を分析し、施設の計画的な修繕と長寿命化を推進していく。